



TITLE:

# 2004年度京都大学生涯教育学講座 彙報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

2004年度京都大学生涯教育学講座彙報. 京都大学生涯教育学・図書館  
情報学研究 2005, 4: 291-294

ISSUE DATE:

2005-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/43875>

RIGHT:

## 2004年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

### 1. 2004年度 授業

#### 《大学院》

教 授	前平 泰志	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
教 授	川崎 良孝	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		図書館情報学特論Ⅱ	前期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅰ	前期
		継続教育論	後期
助教授	佐藤 卓巳	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅱ	前期
講 師	牧野 篤	生涯教育学特論Ⅱ	前期集中
講 師	永田 治樹	図書館情報学特論Ⅰ	前期集中

#### 《学 部》

教 授	前平 泰志	生涯学習概論Ⅱ	後期
		同和・人権教育論	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
教 授	川崎 良孝	図書館・文献・情報	前期
		図書館情報学概論Ⅰ	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	教育研究入門Ⅰ（リレー講義）	前期
		生涯学習概論Ⅰ	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	佐藤 卓巳	メディア文化論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
講 師	国生 寿	社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講 師	山田 礼子	生涯教育学・図書館情報学講読演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講 師	井上 靖代	図書館情報学概論Ⅱ	後期

講 師	塩見 昇	図書館経営論	前期
		学校経営と学校図書館	後期
講 師	山本 昭和	図書館サービス論	前期
講 師	志保田 務	資料組織論	前期
		図書館資料各論	後期
講 師	堀川 照代	学習指導と学校図書館	前期集中
講 師	佐藤 毅彦	情報サービス論	前期
		情報サービス論演習	後期
講 師	柴田 正美	情報検索演習	前期集中

## 2. 研究活動

### 《生涯教育学講座》

- ・「京都大学生涯教育学講座シニアキャンパス」

2004年3月26-28日（金-日）（京都大学百周年時計台記念館会議室Ⅲ・京都大学文学部新館第6講義室など）参加者33名

（株）ジェー・ティー・ビーから京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座への受託研究

\*詳しくは、第1部参照

- ・合宿

2004年7月19-20日（月-火）（アープしが）

京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座主催

### 《図書館情報学研究室》

- ・大学図書館研究会京都ワンディセミナー：「図書館員のプロフェッション」

2004年6月12日（土）（京都国際交流会館）参加者約30名

京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座、大学図書館問題研究会京都支部の共催

— 薬師院はるみ「専門職論争の遺したもの：制度の中の司書と論の中の専門職」

（大阪樟蔭女子大学（非常勤講師））

— 川崎良孝「司書の継続教育についての国際的状况：IFLA、ALA、アメリカの図書館学校、韓国国立図書館の場合」（京都大学大学院教育学研究科）

- ・講演会：「図書館員の技量の絶え間ない発達を求めて」

2004年10月6日（水）（京都大学附属図書館3階AVホール）参加者約40名

京都大学附属図書館・日本図書館研究会・ドイツ文化センター・近畿地区国公立大学図書館協議会・京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座の共催

— クラウス・ライヒェルト（図書館情報学 ハンブルク応用科学専科大学）

「ドイツにおける図書館員の継続教育」

- 事例報告：吉田右子（筑波大学）  
「アメリカ図書館協会の継続教育への取り組み」
- 事例報告：高嶽裕樹（大阪教育大学）  
「アメリカの図書館学校の継続教育への取り組み」
- 事例報告：金智鉉（京都大学大学院教育学研究科博士課程）  
「韓国国立中央図書館の司書研究課の取り組み」

・第2回国際図書館学フォーラム：「都市の発展と図書館サービス」

2004年10月12-15日（火-金）（上海図書館）参加者約200名

全体会：基調講演

川崎良孝「公立図書館の社会的役割：インクルージョンかイクスクルージョンか」

第1分科会：「図書館と生涯教育」

高島涼子「高齢者生涯教育における図書館の役割」

金 智鉉「視覚障害者への図書館サービス：韓国の場合」

前田 稔「公立図書館における児童の「保護」について」

高嶽裕樹「情報源としてのインターネットと図書館」

Nancy Lee、川崎良孝「図書館員の現職教育：国際的動向」

山口源治郎「公共図書館と生涯学習」

第4分科会：「図書館と都市の知識基盤」

薬師院はるみ「電子時代における図書館観の変容：ベーカー論争の再検討を通じて」

### 3. 院生研究業績

#### 【博士後期課程】

金 智鉉（図書館情報学）

- ・共同著書『技量の継続的向上を求めて——図書館員の研修に関する国際動向——』（京都大学図書館情報学研究科）
- ・調査報告「韓国国立中央図書館の司書研修課の取り組み」（京都大学付属図書館、2004年10月）
- ・口頭発表「視覚障害者への図書館サービス：韓国の場合」（日本図書館研究会・上海市図書館学会 第3回国際図書館学セミナー、2004年10月）

吉田 正純（生涯教育学）

- ・論文①「実践報告の中の『接触経験』——教室外での教師と『在日朝鮮人』のかかわり」（『1970年代以降の在日韓国・朝鮮人教育研究と実践の体系的研究』研究報告書（研究代表者中島智子）、2004年3月）
- ・論文②「『精神の明晰』～『世界文化』集団の抵抗と学習：中井正一たちと〈抵抗の学習〉をめぐる諸問題(2)」（『京大大学生涯教育学・図書館情報学研究』第3号、2004年3月）
- ・口頭発表「社会運動研究における「文化的転回」以後の学習論の諸相（日本社会教育学会、

2004年 9 月)

生津 知子 (生涯教育学)

- ・口頭発表「高齢期における自主的な学習活動と参加者の学習イメージ ― イギリス U3A (The University of the Third Age) 活動を手がかりに ―」(日本社会教育学会、2004年 9 月)
- ・翻訳「アドヴォカシーとは何か：全国成人生涯継続教育協会の経験から」(『京大大学生涯教育学・図書館情報学研究』第 3 号、2004年 3 月)

倉知 典弘 (生涯教育学)

- ・口頭発表「教育刷新委員会第 7 特別委員会における『労働者に対する社会教育』の検討」(日本社会教育学会、2004年 9 月)

猿山 隆子 (生涯教育学)

- ・口頭発表「大日本青少年団における生活記録報道運動の方法論的考察 ― 「指導者」の意図と「投稿者」にとっての意味に注目して ―」(日本社会教育学会、2004年 9 月)